

(1) 6 月

| 議員 | 項目 | 答弁 | 質問要旨 | 答弁概要 |
|-------------|----------------------|----|---|---|
| 角田真美 議員 | 郷土資料等の収蔵及び活用について | 市長 | 各所管で進めている収蔵品リストの作成は、将来の一元管理を視野に入れた作業であるか伺う。 | これまで、郷土資料等を収蔵している各所管が進めてきた収蔵品リストの管理方法については、紙を主体にしたカードや表形式によるものなど、所管ごとに異なっていた。 そこで、将来的な一元管理を視野に入れ、これまで所管ごとに異なっていた書式をできる限り統一するため、同一書式による収蔵品リストの作成に着手したところである。 |
| 加藤仁司 議員 | 小田原市郷土文化館常設展示と民俗について | 市長 | 小田原にはどのくらいの数の収蔵物があるのか伺う。 | 令和3年3月末時点で、生涯学習課が所管する郷土文化館、松永記念館、尊徳記念館の収蔵物はあわせて約34,000点となっている。 図書館が所管する中央図書館と文学館を合わせた貴重資料の総数と、文化財課が所管する埋蔵文化財の発掘に伴う出土品の収蔵総数は、箱数での把握となるが、それぞれ文書保存箱等で約6,100箱、遺物整理箱で約10,200箱となっている。 また、天守閣の収蔵資料総数は、約2,500点となっている。 |
| 奥山孝二郎 議員 | 本市における未活用の土地等について | 市長 | 旧保健福祉事務所跡地の現状と今後について伺う。 | この土地は、平成26年に神奈川県から文化生涯学習施設用地として取得したが、これまで、観光協会や地元自治体等に対し、イベント開催時などにおける駐車場等としての使用を認めてきたところである。 また、現在は、当該地の一部を新幹線の鉄道工事の資材置き場として、行政財産の目的外使用許可により、使用させている。 今後は、将来の施設整備を見据えつつ、まずは、旧松本剛吉別邸や小田原文学館の利用者のための駐車場と、多目的広場としての整備を行いたいと考えている。 |
| | | 市長 | 旧保健福祉事務所跡地を民間会社に資材置き場として貸しているが、この使用は、いつ、だれが、どのように、申し入れたのか。また、使用料はいくらか、伺う。 | 本件については、令和2年7月に、鉄道関連事業者から図書館に対し、早川地内における新幹線の鉄道工事のための資材置き場として、旧保健福祉事務所跡地を借用したいとの申し入れがあった。 鉄道工事という公共性や周辺地域に適地が見当たらないことなどを勘案し、地域の了解を得た上で、安全上の配慮の徹底を条件に、令和2年10月14日から令和4年3月31日までの予定で、行政財産の目的外使用として許可したものである。 使用料については、目的外使用における所定の計算式に基づいて算出し、期間中の合計で約870万円を見込んでいます。 |

(2) 9月

| 議員 | 項目 | 答弁 | 質問要旨 | 答弁概要 |
|-----------|------------------|----|--|---|
| 楊隆子 議員 | 小田原市における童謡事業について | 市長 | 本市のこれまでの童謡事業についての実績と評価を伺う。 | 北原白秋が小田原在住中に多くの童謡を創作したことから、本市では、平成10年に白秋童謡館開館以後、全国童謡フェスティバルの開催や白秋童謡の散歩道の整備など、様々な事業に取り組んできた。 平成30年には「白秋童謡100年」と銘打ち、小田原童謡大使の任命をはじめ、市民や民間団体の参加も得ながらミニコンサートやトークイベント、特別展示など多彩な事業を行ったところである。こうした取組を通じて、白秋童謡の魅力や認知度は着実に広がってきているものと評価している。 |
| | | 市長 | 三の丸ホールオープニングセレモニーが開催されたが、童謡事業は今後どのような予定になっているのか。 | 小田原市民ホール開館記念事業として、9月19日にボニージャックス、ベイビーブーの両グループによる小田原童謡大使コンサートを開催し、幅広い世代の皆様に優しい歌声と絶妙なハーモニーとともに動揺の魅力を楽しんでいただく予定である。 また、今年は市内の小学校4校を対象にベイビーブーの皆さんによるアウトリーチ事業を実施する予定である。 今後も、様々な機会を捉え、童謡大使の皆さんの歌を通して白秋童謡が生まれた小田原の風土や動揺のまちとしての魅力を次世代に継承してまいりたい。 |
| | | 市長 | 来年11月2日は白秋没後80年となるが、本市の予定はあるのか。 | 令和4年は北原白秋の没後80年となるが、白秋童謡館において白秋の事績、功績を紹介し顕彰する常設展示の大幅なリニューアルや、普段は目にする機会の少ない自筆の書画類等、貴重資料の特別公開などを行いたいと考えている。 併せて、「白秋童謡100年」事業にご参加いただいた市民や民間団体の皆さんにもご協力いただき、関連事業を検討していきたい。 |
| | | 市長 | 「童謡のまち小田原」の童謡文化を継承し、発展していく事が大事と考えるが、市の展望を伺う。 | 小田原の豊かな風土における人々との交流を通して生み出された白秋童謡は、作品に込められた思いや情景とともに将来に向けて大切に引き継いでいくべきものであると考えている。 市としては、図書館所蔵の北原白秋の関係資料などの活用による事績の発信はもちろんのこと、白秋童謡をモチーフとして市民、民間団体が取り組む文化活動との連携や、その支援を通じて童謡のまちとしての認識や魅力が広がるよう取組を進めていきたい。 |